

ノベルティグッズの開発

～商品開発までの道～



江島
菜月

川端
緋奈

小島
虹海

濱口
芽依

商品開発の目的

「AIによるブーカ時代の到来」 = 「将来の予測が困難な時代」

10～20年後、国内の労働人口の49%がAIやロボットなどで代替可能になるといわれている

新しい**満足**や**価値**が必要になってくる

顧客の心情に寄り添った商品を作ったり、**アイデア**や**創造性**を使って物に付加価値を与えることは人間の得意分野であり、**AIの不得意な部分でもある。**

これからの時代に必要なこと

「顧客のニーズに沿った商品やサービスを作り出す力」

具体的には...



顧客の要望や心情をしっかり理解した上で、そのニーズに沿った物をアイデア思考でどんどん新しいものを生み出していくことが大切

そこで私たちはゼミナールの商品開発をとおして
アイデア思考を学びました

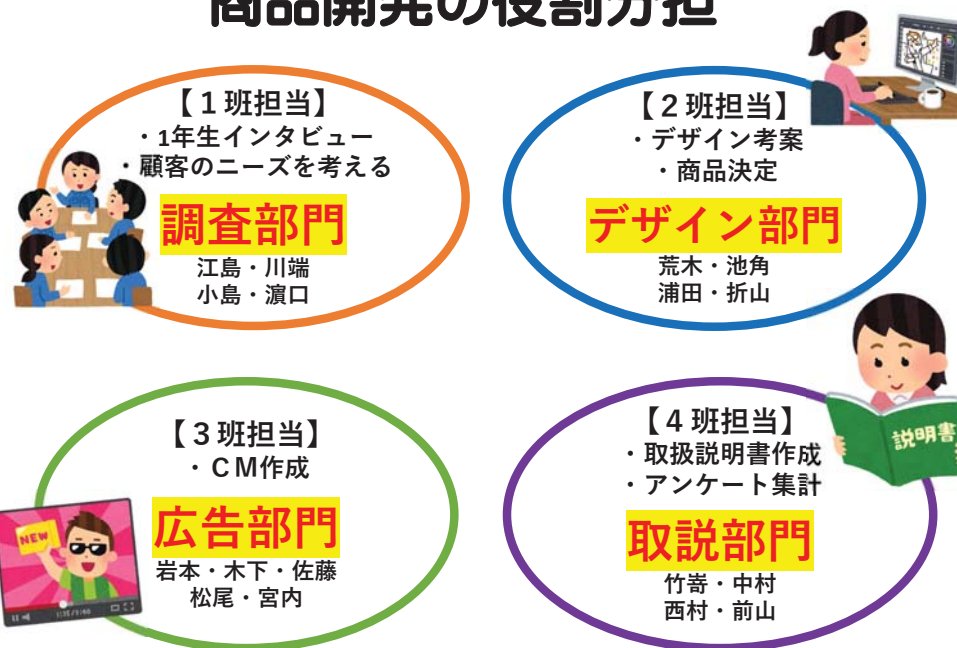
商品開発の3つのポイント

開発の目標を
明確にする

生の声を聞く

顧客視点に立つ

商品開発の役割分担



作業工程動画

商品開発作業工程&メンバー紹介

START

商品開発作業工程&メンバー紹介

商品開発までの取り組みをご覧ください

商品開発部 1年 橋本 美穂

商品開発部 2年 江崎 美生

商品開発部 3年 デザイン 佐藤 美生

商品開発部 4年 橋本 美穂

商品開発部 5年 橋本 美穂

商品開発部 6年 橋本 美穂

商品開発部 7年 橋本 美穂

商品開発部 8年 橋本 美穂

商品開発部 9年 橋本 美穂

商品開発部 10年 橋本 美穂

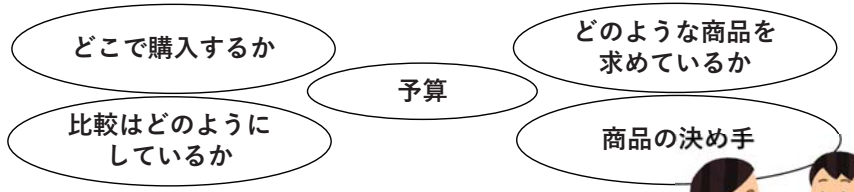


1 班の作業工程 (ニーズ調査)

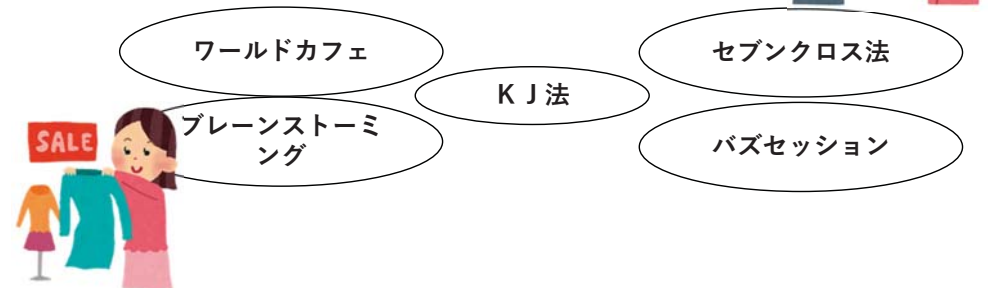
- step1 ▶ **目的を明確にする** → オープンキャンパスのためのノベルティグッズ作成
- step2 ▶ **ユーザーのニーズ調査** → 一年生へのインタビュー
- step3 ▶ **調査内容を書き出す** → 一年生が求める商品の特徴を書き出す
- Step4 ▶ **集計する** → 商品開発をするにあたり、一番重要視するものは何か意見をまとめる
- Step5 ▶ **消費者のニーズを明確にする** → これまでの意見を踏まえて、商品を決定する

ユーザーのニーズを探るインタビュー

(インタビュー内容)



(インタビュー方法)



1年生の商品選択のポイント

- 1 日常使いできるもの
- 2 流行り・ファッション
- 3 デザインの好み
- 4 品質・素材 (生地)
- 5 コスパが良い・金額
- 6 SDGsや3Rに活用できるもの